

豊島区民地域福祉活動計画（令和6年度～11年度）

団体等ヒアリング 報告書

豊島区民地域福祉活動計画推進委員会

社会福祉法人
豊島区民社会福祉協議会

概要

地域において、さまざまな分野で支援活動や地域活動等を実施する団体（当事者団体含む）から、活動の実態や団体運営上の課題、団体が対象としている（支援している）住民等の課題などを聞き取り、地域福祉活動計画に生かすために、「団体等ヒアリング」を実施。

- 時期

令和5年11月実施
- 内容

「現在の活動内容」「今後何をしたいか」「どんな支援が必要か」など
- 方法

推進委員会委員・事務局職員が対面にて聞き取り
- ヒアリング団体数

18団体

	分野	団体名
01	外国人	としまる（TOSHIMA Multicultural Support）
02		日本語ネットとしま
03		まなびすたーり
04	子ども 学生	南長崎子ども食堂
05		カフェ塾テラコヤ
06		としまフードサポートプロジェクト
07	高齢者	豊友会
08		豊島区高齢者クラブ連合会
09	障がい者	豊島区手をつなぐ親の会
10		手話サークルだんぼ
11		地域生活支援センター こかげ
12	福祉団体	生きづらわーほりプロジェクト
13		TENOHASI
14	その他	南長崎3・4丁目町会
15		（株）サンシャインシティ
16		（株）タニタ
17		（株）白寿生科学研究所
18		（公社）成年後見センター・リーガルサポート 東京支部豊島地区

シャンティ国際ボランティア会（としまる）

01
分野:外国人

実施日 令和5年11月14日 | 訪問者 張委員、宮坂、山本（玲）

現在の活動内容

- ・フードパントリー（毎月1回程度）
- ・在留資格相談（特定技能セミナー）
- ・就職相談（ハローワークセミナー）
- ・孤独・孤立ママを対象としたイベント
- ・としま外国人相談窓口（毎月3～4回程度）
- ・LINEや電話による継続的な支援
- 以上、頼れる家族的な存在として活動。



今後何をしたいか

- ・区や都との連携
- ・多文化共生社会作りを目指した地域との繋がりづくり
- ・区役所内での相談窓口開設
- ・豊島区モデルを他地域で展開（現在、練馬区での展開を検討中）
- ・外国人の中でのリーダー作り
- ・コーディネーターの育成（人員を増やしたい）

どんな支援が必要か

- 「人」、「もの」、「金」
- ・マンパワーに頼っているため、他地域での展開や継続的な活動が行えるようなシステム、仕組みづくり
- ・継続的に利用できる場所
- ・中長期的な活動を行えるような活動資金

実施日 令和5年11月24日 | 訪問者 張委員、宮坂、高梨

現在の活動内容	・日本語教育ネットワーク会議の開催 ・区内日本語教育機関等に関する実態把握（2019年区内日本語教育機関等に関する調査実施に対する協力） ・日本語教育・学習支援における連携・協力 ・一般住民を対象とした日本語教育シンポジウムの開催協力 ・豊島区日本語学習環境マップの更新情報の提供
今後何をしたいか	・日本語学習が必要な人が教室を適切に選べるようになることをねらい、必要な人が情報を入手できるよう、広報方法を工夫したい。そのために、今後も外国人支援団体等、キーとなる組織・人との連携を進める必要があり、特に、キーパーソンとなる外国籍住民に会議への参加をお願いしたい。 ・国際交流や外国人支援に関心のある人達（含、外国籍住民）の人材バンクのようなものができたらよい。人材バンクに登録している人が各種事業に協力し、日本語学習環境マップの更新や翻訳を行ってくれるとありがたい。
どんな支援が必要か	・ネットワーク会議を維持するための原資がない。 ・今後も学習院大学が事務局として、日本語教室のマップづくりやネットワーク会議を運営していくことがよいことなのか、検討する必要がある。 ・ネットワーク会議の場で課題、問題点が出てくるが、それを解決するための人や経費の問題がある。

現在の活動内容	毎週水曜3：30～5：00区民ひろば千早で集まり小学生の学習サポートをしたり、みんなで遊んだりしている。 また、子どもたちの学校と連携して授業のサポートに入っている。
今後何をしたいか	地域で何らかの学習サポートが必要な子を中心に居場所となり、そこでつながった子たちを必要な機関やサポートにつなげたり、学校とも連携し、その子に合った学習等サポートをしていきたい。
どんな支援が必要か	現在、民生委員さんが中心であるためスタッフが確保できない事もある。学生や地域の人をまきこんで、この地域で子どもたちの 教育と一緒に考えていきたい。



実施日 令和5年11月10日 | 訪問者 佐藤（訓）、所、佐々木

現在の活動内容	・ 神社の社務所を借りて、近隣飲食店から購入した弁当を要支援家庭に提供（月二回程度開催） ・ ボランティアで大学生が参加し、弁当配布前に学生と子どもたちの交流の場を作る（寺子屋も併設） ・ 定期的に、飲食店や学生と協力したイベントの企画・開催
今後何をしたいか	「活動場所」「協力したい人（フードロスを減らしたい企業など）」 「困っている人（食材がほしい子ども食堂など）」をマッチングする仕組みづくり
どんな支援が必要か	・ 福祉関係者等と連携した困窮世帯への活動周知 ・ 交流の場等に来ない、来られない子どもへの働きかけ ・ 幅広い世代の子どもたちの参加を促す働きかけ ・ 本当は、自らで支援をしたいのに、なかなか一歩前に踏み出せない方々への後押し（募集や説明会の開催）

特定非営利活動法人テラコヤ

05

分野:子ども・学生

実施日 令和5年11月20日 訪問者 所、山本(玲)

現在の活動内容

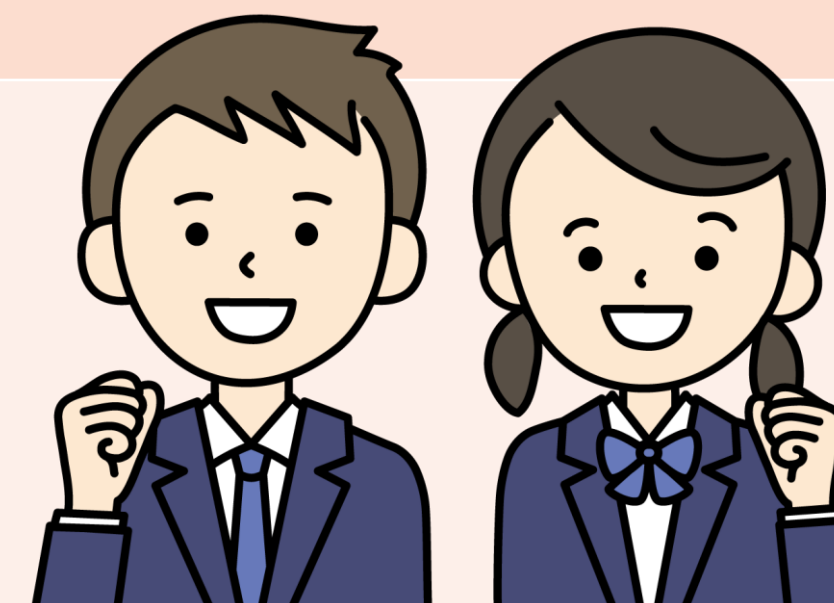
- ・カフェ塾テラコヤ（無償の学習支援）
- ・テラコヤカフェ（高校生が総合的に行うカフェの運営）
- ・子ども食堂（企業との連携）
- ・オンラインテラコヤ（ZOOMを活用した学習支援）
- ・夏休みの宿題サポートを目的とした、区民ひろばでの学習支援

今後何をしたいか

- ・子ども食堂の継続的な開催
- ・テラコヤカフェの新たなシーズンでの立ち上げ・運営
- ・企業との提携による場所の確保

どんな支援が必要か

「資金面」
社会人スタッフは本業をしながら活動している。
社会人も学生ボランティアも「ボランティア精神」で活動しているが、継続していくには限界がある。
マンパワーのみに頼らない運営支援。



としまフードサポートプロジェクト

06

分野:子ども・学生

実施日 令和5年11月10日 | 訪問者 行舎

現在の活動内容	・ 認定NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワークは2018年から長期休みにパントリーピックアップを開催していた。 ・ 2020年に新型コロナの影響で小中学校が休みになり、ひとり親家庭の多くが、昼ご飯を家で準備する負担が増えた。その為、地域住民や行政・関係機関の協力を得て規模を増やしたフードパントリーを開催している。
今後何をしたいか	・ 地域を巻き込んだフードサポートによる繋がり作り ・ 支援を必要としている人のフードサポートを通じた包摂 ・ 「住民同士で助け合うことは恥ずかしいことではない」という空気作り ・ お寺などの既存コミュニティとの連携
どんな支援が必要か	・ 民間だけでなく行政の常設のフードパントリーの取り組み ・ フードパントリー機能だけでなくワンストップで生活の相談ができる公的な地域の駆け込み寺のような窓口の設置 ・ 経済界など色々な社会資源を持った業界との連携 ・ 困難ケースへのCSWの支援

実施日 令和5年11月11日 | 訪問者 宮坂・山本（由）

現在の活動内容

- ・毎月第2・4土曜日に、相澤民生委員の自宅2階を会場として、高齢者を対象とした会食を実施している。
- ・お弁当は全てボランティアの手作りで、コロナ禍から配食も開始。
- ・現在、利用者20名。ボランティアはご近所の方で13名程登録している。
- ・たらふく子ども食堂も毎月第3土曜日に、自宅を会場に配食形式で実施している。

今後何をしたいか

- ・子どもと高齢者等、多世代交流ができる食堂も今後やってみたいと考えている。
- ・カフェ事業もやってみたい。



どんな支援が必要か

- ・助成金で活動の費用は賄えているが、ボランティアの高齢化が問題。
- ・多世代交流ができる食堂には、いま行っている2つの活動（子ども食堂、豊友会）の助成金は使えない。他に助成金があれば良い。

豊島区高齢者クラブ連合会

実施日 令和5年11月2日 | 訪問者 行舎、石田（晶）、白岩

現在の活動内容

- ・ 地域を拠点に自主的に組織され、主に「社会奉仕活動」「健康を進める活動」「生きがいを高める活動」に取り組んでいる60歳以上の高齢者を中心として活動している。
- ・ 具体的には会員同士の見守り安否確認、地域の清掃、資源回収などの奉仕活動や輪投げなどの軽スポーツやカラオケ、手芸、旅行など健康維持、生きがいを高める活動を行っている。

今後何をしたいか

- ・ 高齢者が元気になる活動を行うにあたって会員の減少が危惧されるため、会員の増強が求められている。近年、前期高齢者は就労している人が多いがセカンドライフの選択肢の一つとして高齢者クラブの加入促進を行う。
- ・ 高齢者クラブの役員が高齢化しているため、趣味やクラブ活動の経験のある人に積極的に会員になってリーダーシップを発揮してもらいたい。
- ・ ICTを利用した見守り活動を進めたい。

どんな支援が必要か

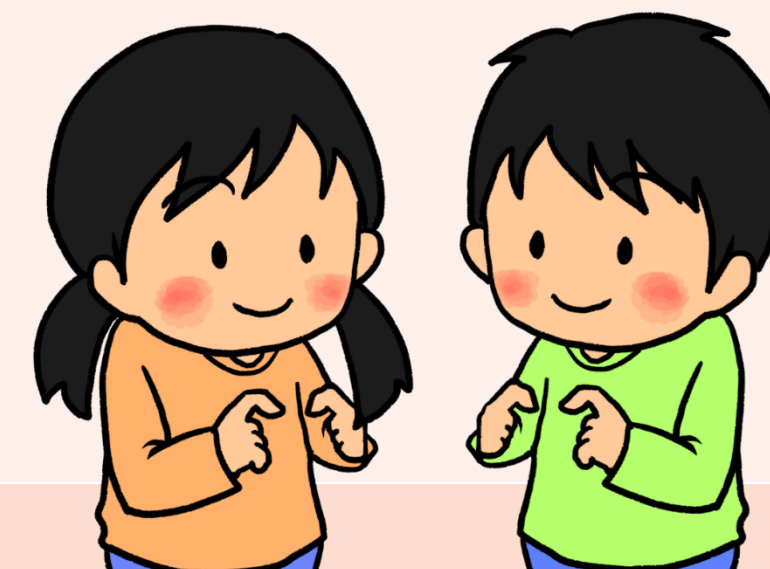
- ・ 活動拠点である区民ひろばとの連携強化。
- ・ 補助金の増額。
- ・ 魅力ある活動を推進するための企画を含めたサポート。
- ・ 区民ひろばで拠点を置くCSWに高齢者の「いつでも何でも相談」のワンストップ窓口になってほしい。

実施日 令和5年11月8日 | 訪問者 佐藤（訓）、松里、木下（武）

現在の活動内容	・区への要望書提出 ・障がい関係の行事、イベント、啓発活動への参加 ・連絡会の実施 ・年2回のバスツアーや新年の集いの実施 など
今後何をしたいか	・70周年記念で映画上映をやる予定 ・これまでは会員の親睦・情報交換を中心にしてきたが、今後は、（会員でなくても）若い親も参加できるような勉強会なども行いたい。
どんな支援が必要か	・知的障がい者の災害対策と周知 ・親がなくなった後も安心できるような制度の充実や運営 ・知的障がい者への理解を広げる

実施日 令和5年11月23日 | 訪問者 所、山下、鈴木（聡）

現在の活動内容	・コロナウイルス感染対策のため、2020年4月から定例の活動は休止中。 ・2023年現在は、「ふくし健康まつり」に参加や手話講座等に講師として協力し、活動している。
今後何をしたいか	定例の活動再開については検討中。イベント等は協力できる場合あり。
どんな支援が必要か	・今後も引き続き、関心のある方へ情報や場所の提供等をお願いしたい。 ・耳が聞こえない、聞こえにくくなると、周囲とのコミュニケーションが取りづらく孤立しやすいため、支援が必要。



社会福祉法人豊芯会 地域生活支援センターこかげ

11
分野:障がい者

実施日 令和5年11月16日 訪問者 宮坂、行舎

現在の活動内容	・平成9年に東京都よりモデル事業の指定を受けて開設した。 ・現在は地域活動支援センターⅠ型として、精神障害者を主な対象に、電話や来談、訪問によるこころの健康や生活上の困りごとの相談受付、学習会や広報誌、グループ活動などによる地域交流、気軽に立ち寄れて居場所として利用できるオープンスペースを運営している。
今後何をしたいか	・豊島区は入院できる精神科の病院が基本的にはなく、区外に入院する人が多いため、退院時の病院と地域のネットワーク機能が求められる。医療と福祉がさらに連携し、必要な人に必要な支援が行き届くようにしたい。 ・地域活動支援センターⅠ型は自宅でも職場でも、まして医療機関でもないサードプレイス的な機能が強み。今後も従来通り活動していきたい。
どんな支援が必要か	・5つ以上の事業を展開するにはスペースが足りなくなり、昨今の物価高騰の影響もあり、今年度末にセンターを移転することになった。環境が変わる影響が利用者に出てくることを懸念している。 ・福祉に頼る第一歩が遠かったり、自分がどこへ行けばいいかわからない人がいるので支援に繋がるよう働きかけて欲しい。

現在の活動内容	・ 社会不安など、人と接することに不安や悩みを抱えている方を対象に区内のコミュニティカフェで事前予約制の1対1の会話を行う活動と予約不要の少人数での会話を行うサロン活動と場づくりを実施している。 ・ スタッフは、主催者（社会福祉士）とボランティア（キャリアコンサルタント）の2名体制。
今後何をしたいか	・ キャリアコンサルタントがスタッフにいる強みを生かした企画気軽なボランティアや就労体験就労にまつわるトークテーマ「働きやすさ・働きづらさ」など。 ・ 常連の参加者が今後も参加できるよう継続的な開催。 ・ 事前予約のできない方が参加しやすいような工夫。
どんな支援が必要か	・ 会場の問題（メンバーに区内在住・在勤者がいないため、区有施設での利用ができない） ・ 社協のサロン助成の割合が変更となり、会場費の負担が増えた。 ・ 区内在住（在勤）者の協力。 ・ サロン活動の予約ができない方へのアプローチ。

実施日 令和5年11月8日 | 訪問者 松里、恩田

現在の活動内容

- ・生活困窮者への食料支援（炊き出し・夜回り等）
- ・生活困窮者への相談支援（医療相談・生活相談）
- ・生活保護などの申請同行支援
- ・路上から直接入居できる「シェルター」の運営
- ・「ハウジングファースト東京プロジェクト」の共同実施



今後何をしたいか

- ・コロナ禍で中断していた日中活動の再開
- ・関係機関や地域との連携の強化
- ・困窮する前に相談できる体制づくり



どんな支援が必要か

- ・運営資金確保の安定化（企業からの寄付や助成金等）
- ・新しい分野のボランティア（車の運転、データ入力など）
- ・地域住民の理解と協力



南長崎 3・4丁目町会（地区合同）

14
分野:その他

実施日 令和5年11月17日 | 訪問者 宮坂、所、佐々木

現在の活動内容

- ・災害時要援護者名簿の活用の視点から、三町会合同で定期的な会議を重ね見守りマニュアルを完成させた。
- ・要援護者名簿を基に、実情に合わせた各町会独自の見守り名簿を作成。現在は町会ごとに年1～2回程度集まり、名簿登載者に関する近況共有などを行っている。

今後何をしたいか

- ・年に一回程度で、三町会全体で集まる場を設ける。
- ・災害時要援護者名簿の更新を行政に依頼したい。



どんな支援が必要か

- ・要援護者名簿に載っていない人や外国人への支援の視点も必要。災害弱者と言われる方への支援は行政との連携が不可欠。
- ・支援に拒否的な人とつながるきっかけや働きかけ。
- ・障がい分野の困りごとの情報が入りづらいという課題がある。
- ・要介護者についてはケアマネジャー等との連携が必要。

実施日 令和5年11月14日 | 訪問者 松里、石森

現在の活動内容

- ・ バリアフリー情報サイトの作成(遊ぶ、食べる、優先トイレ、その他バリアフリー情報など)
- ・ 絵本の森(子ども優先スペース、絵本のリサイクルボックス設置、地域への還元、読み聞かせ会の開催など)
- ・ プレーパーク(子どもの体験がテーマのマルシェ・ワークショップ)
- ・ 子ども服マーケット(着なくなった服を集め、必要な家庭に提供)
- ・ Fooderプロジェクト(社内コミュニケーションの活性化。障がい者施設のパン販売など)

今後何をしたいか

- ・ “まち”に視点を当てたサンシャインならではのまちづくり
- ・ 様々な企業・団体との横のつながりづくりと連携
- ・ 誰もが、安心して利用できる施設づくり

どんな支援が必要か

- ・ ハード面で足りない部分を、どうソフト面で補うか。
- ・ 必要な人に、どう情報を届けるか。

実施日 令和5年11月27日 | 訪問者 馬場、宮坂、恩田、白岩

現在の活動内容	・ 豊島区フレイル対策事業として、区民ひろば12か所へ機材提供 ・ 豊島区熱中症予防対策モデル事業への取組み（熱中症データの可視化や共有、啓発活動など） ・ ふくし健康まつり等のイベントや測定会へ機材提供等の協力 ・ 近隣の高校等と共同し、eスポーツ事業に取り組む。「心の健康づくり」をサポート
今後何をしたいか	・ 高齢者に限らない幅広い世代への訴求（スポーツセンター等への機材設置など） ・ 豊島区をモデルとしたクーリングシェルターの在り方の模索と他自治体への波及
どんな支援が必要か	・ 豊島区モデル事業への採択 ・ 財源の確保（補助金予算の確保）

株式会社白寿生科学研究所

実施日

令和5年11月17日

訪問者

馬場、小林（聖）、山本(玲)

現在の活動内容	- 区内での店舗展開 ハクジュプラザ巣鴨店、(株)サンオート（代理店） - 区民ひろば16か所に福祉用ヘルストロンを設置 - 認知症サポーター養成講座開催 - 介護予防セミナー開催 - 大正大学との連携（現在協議中） 学生インターシップ受入と巣鴨店を拠点とした地域活性化
今後何をしたいか	- 誰か（地域）の役に立つ、懸け橋になるために… ①営業していない日時に店舗スペースを交流の場として提供 ②学生と顧客との交流、学生が高齢者の声をきく等のイベント開催 ③店舗にて、介護保険の使い方講座等、行政との連携 - 時代とともに変化する新しい健康づくりや情報発信 - 他企業と連携し、利用者層の年代の幅を広げる（50～60代の利用者を増やしたい）。
どんな支援が必要か	「人」「場所」 - 働き方改革もありスタッフ体制的に営業時間が限られてしまう。 - 巣鴨店は利用者数が増え、手狭になってきている。

(公社) 成年後見センター・リーガルサポート 東京支部豊島地区

18
分野:その他

実施日 令和5年12月11日 | 訪問者 天羽

現在の活動内容	司法書士の中で、成年後見業務に関する研修を修了した下院が所属している団体で、主に以下のような活動をしている。 ・全国一斉成年後見相談会など成年後見制度についての周知活動及び相談対応 ・高齢者総合相談センター主催のケアマネジャー向け勉強会での講演 ・登録会員が集合して行う業務についての勉強会の開催 ・「ふくし健康まつり」への参加 ・「豊島区終活あんしんセンター」専門職相談員への就任 ・成年後見人等の推薦依頼への対応
今後何をしたいか	地域連携ネットワークの中で、成年後見制度を含む権利擁護支援が必要な方への支援に専門職の立場で取り組んでいく
どんな支援が必要か	・成年後見人等の報酬に対する費用助成の拡充 ・成年後見等の申立費用に対する助成の拡充 ・社協が行っている区民後見人の養成活動の推進 ・身近で気軽に成年後見について相談できる窓口の種類を増やすこと ・地域でチームを作り本人の意思決定を支援する取り組み

ヒアリングにご協力いただいたみなさま
ありがとうございました！

豊島区民地域福祉活動計画（令和6年度～令和11年度）

<https://toshima-shakyo.or.jp/contents/niceplan.html>

